

EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2011.12.1

No.89

先日、静岡県三島にある教会へ行ってきました。その近くに前から行きたかった場所があります。それは「箱根」です。コル・シャロームのレパトリーの一つに滝廉太郎作曲の「箱根八里」があります。力強い旋律を、情景を思い浮かべながら歌うために一度は箱根の厳しさを

見てみたいと思っていたのです。鳥居忱作詞の歌詞は文語体で漢籍からも引用され、現代人の私たちにはかなり難解です。今からちょうど百年前に中学校唱歌として紹介されました。百年前の中学生たちには普通に理解できる文章だったのです。また今は道が整備され、交通機関も発達してあつと言う間に越えて行くことができます。箱根の険しさを感じにくくなっているとも言えるでしょう。

日常のことば、生活環境いずれにしても百年という歳月がいかに大きな変化をもたらすかを思わせられます。今は箱根の関所が復元されて観光地になっていますが、それともて百四十年ほど前に関所が廃止になって以降、どのような様子であったかわからなくなっていたのです。ところが今から三十年ほど前に、江戸時代に行われた関所の解体修理の報告書が見つかり、復元が可能になったのです。

人間が経験していることでも百年を過ぎると

歴史を越えるいのちの福音



の福音を引き継いで伝えていくということが恐ろしくすごいことだと思ふのです。

旧約聖書であれば三千年五百年前書かれ始め、それ以来忠実に伝えられてきました。(ちなみに今の聖書と全く同じである二千年前のヘブライ語の聖書はインターネットで電子化されたものを見ることが出来ます。)三百年でもすごいことですがその十倍です！そして旧約聖書に約束(預言)されていた救い主が実際にこの地上に來られたのが今から二千年前。その名をイエスといい、その時点で人間は歴史を「紀元前」と「紀元後」に分けました。救い主の誕生は今でも全世界で「クリスマス」としてお祝いされています。

人類を罪から救い、永遠のいのちを約束し続けた福音。これは単に「よいお話」でも無知な人々を慰める「作り話」でもありません。この福音を受け入れ、救いを得た数えきれない人々によって、世界は変えられてきたのです。ニュートン、バツハ、リンカーン、マルチン・ルーサー・キング、ナイチンゲール、マザーテレサなど…。

今回の三島の福音集會に一人の女性が参加されました。四十前でありますが癌に侵され、ホスピスに入っておられますが是非聖書のメ

ッセージを聞きたいと外出許可をとってご主人と共に來られたのです。クリスチャンドクターから聖書のメッセージを聞き、素直に「救い主イエス」を受け入れられました。私たちには何の力もなくてもこの方が私たちを助け、救ってくださいることを聖書を通して気付かされ、信じたのです。

そこで最初で最後になるかもしれない特別集會に参加することを切望されたのです。朝三十八度を超える発熱があり、参加が危ぶまれましたが不思議に癒され参加できました。ソファーに横たわりながら真剣に耳を傾けておられました。集會が終わって「イエスさまを信じて何か変わりましたか？」と聞くと、「死ぬのが怖くなりました。」と気負いなくおっしゃるのです。これまでは漠然とした不安がいつぱいだったのですが、死後の世界のことを知り、最終的な解決が聖書の中にあるということを知り、救いを受け入れ、それを確信したとき人は劇的に変えられるのです。これは議論や理論ではありません。生きて働かれる創造主の力です。

『あなたがたは心を騒がしてはなりません。神を信じ、またわたしを信じなさい。わたしの父(創造主)の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言っておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。…』

イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに來ることはありません。』

(ヨハネ十四章一、二、六節)

私は中学二年生で英検準二級を受けた後、中学三年生になったら英検二級に挑戦しようと思っていましたが、いつのまにか高校卒業認定試験の勉強をする時期がきてしまい、英検の勉強をする余裕がない状態になっていました。

八月、無事に高認全教科合格することができ、これからどう勉強していけばいいか悩んでいたとき、英検を受けることを次の目標に掲げることになりました。

英検を十月に受けたいと思っていたので、そのためにはすぐに勉強を始めなければいけませんでした。二ヶ月間しかなかったので、試験の形式に馴れるためにあるだけの過去問を解き続けました。幸いにも中三の時に毎日「I know」というサイトを使って単語を覚えていたので、数えることができるほど少量の単語を覚えるだけで済みました。

一次試験は無事に合格することができましたが、問題は二次試験の面接です。私は英語を話すのは好きですが、決して得意ではありません。しかし毎日ホームスクーラーの英語ができる友達とスカイプで話しているため、今回の面接では準二級の面接より焦らず、落ち着いて答えることができましたと思います。

十一月下旬、インターネットで合否を確かめてみると無事に合格できました！次の目標は準一級かTOEICを受けることです。

十一月
「こんにちはしました！ 行事報告」

- 四日 音楽の集い
 - 七日 ニューゼーランドのE兄来訪
 - 十七〜十九日 白馬セミナー
 - 二十四日 合同公文教室
 - 二十五日 祖母誕生日会
 - 二十六日 Jクラブ「すいとんを作ろう」
 - 二十九日 塗り絵・工作教室
- 「クリスマスカードを作ろう」

→音楽の集い
↓祖母誕生日会
手作りケーキ！



↓わさび園で



編集後記

「白馬セミナー」の一週間前に依頼された賛美のリード。急遽チームを編成し、曲を決めました。EのキーボードもEのアドバイスのおかげでばっちり決まりました。

白馬セミナー2011

今年で八回目になる白馬セミナーに行きました。M兄ちゃんとH姉ちゃんは受験生なので、勉強のために行くことができません、五人の参加となりました。

朝四時に大阪を出発し、父さんが七時間くらい運転してくれました。今回は、白馬に行く途中に、安曇野市にある大王わさび農場に行きました。きれいな水が流れているところでわさびが作られていました。わさびがどのように作られているかを見るのは初めてだったので、興味深かったです。またアルプスの山々がとても美しかったです。どこを見てもすばらしい景色でした。すばらしい景色を見ながら、わさびソフトクリームやわさびコロッケバーガーを食べました。あまりからかなくて、おいしかったです。

白馬は雪がまだ降ってなくて、山登りもできました。たいへんだったけれど、上から見る景色は最高です。チルドレンミニストーリーで、今年も運動会で一位になりました。一つ一つの競技がすごく楽しかったです。聖書のお話も、スライドを用いて分かりやすく話してくださいました。

今年に分科会で、私もホームスクーリングの報告をしました。八年間で学んだことやホームスクールでしかできなかったと思うことなどを少しの時間だけお話しすることができました。分科会には知っている人たちが多く参加してくださったので、少し緊張しました。

一日目の夜には舞台上で合同公文メンバーで賛美しました。みんなで一緒に練習する時間はあまり無かったけれど、家やバスの中で練習し、みんな上手に楽しく歌えました。二泊三日があっという間に過ぎてしまいました。参加することができ本当に良かったです。